

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	毎月2回実施される職員会議で生活状況の確認は行っているが、介護計画の見直しを行うモニタリングが100パーセント実践できていない。課題の多い利用者さんは頻回に検討するが、その他の方はモニタリングが薄くなってしまっている。	3ヶ月1回のモニタリング実施を必ず実施する。生活の重点目標を介護・医療の側面から明確にする。	毎月第一月曜日の職員会議の後半(14:00)からモニタリングの時間にあてる。モニタリングスケジュールを毎月3人ごとに計画をして実施、確認を行う。介護計画書の見直しを行う。	3ヶ月
2	33	ターミナルケアに入ったときの主治医からの説明は行っているが、家族を同席しての今後の方針確認はできている家族とできなかった家族があった。介護計画にて説明はできたもののしっかりとした意思確認は弱いものがあった。	重度化におけるターミナルケアにおいて、身体状況の説明は医療専門職(主治医)より行い、同時に家族および施設職員とのサービス担当者会議を実施して相互理解および方針の確認を行う。	ターミナルケアのマニュアルおよび看取り計画書の見直しを行い、職員会議にて再度ターミナルケアの勉強会を実施する。	3ヶ月
3	4	運営推進会議は2ヶ月に1回にて開催できているが、内容は経営状況、人事、利用者近況が主な内容になってしまう。	委員の方々の参加率向上と腹藏の無い意見をいただけるような議題を設定する。また、議事録を整理できるようにする。	運営推進会議の内容にて、市役所担当に相談をして内容のある議題の選定を実施する。また、他施設にも相談をして議題の助言を頂く。	6ヶ月
4	10	家族会等行事への参加は行っているが、開かれた施設にて家族同士での話し合いはできていない。	家族同士で運営やサービスの内容を議題定義できるような環境を作る。	行事参加のあと家族会を実施し、主幹事を委託して家族同士で話し合っていたりするような会を実施する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。